

検察とメディアによってねつ造された「政治とカネ」

これを許せば議会制民主主義が崩壊する

○あれだけ大騒ぎをした西松建設の裁判は既にある。

2010年1月13日の第2回公判で、検察側証人がダミー団体ではないと証言。敗色濃厚になった検察側は訴因を変更。西松裁判は実質上なくなった。

○陸山会事件の被疑事実はたった2か月ちょっとの「期ずれ」。

仮登記の04年10月末には「権利能力なき社団」の陸山会の所有とすることはできず、本登記の05年1月に小澤氏個人と確認書を交わし陸山会の所有になった。だから05年の収支報告書に記載。そもそも虚偽記載でさえない。

4億円の立て替え金について、そもそも立て替え金を記載する義務はなかった。

○陸山会事件を捜査したのは、FD改ざん事件の前田元検事

前田元検事は実質無罪判決の出ている佐藤栄佐久前福島県知事の事件で捜査を担当。裏金疑惑を証言した水谷建設元会長が仮釈放欲しさに虚偽の供述をしたと佐藤前知事の弁護士（宗像弁護士）に語った。

○新生党解党資金についての批判記事によって、皮肉なことに小沢元代表が蓄えてきた政治資金が、政治改革のために蓄積された軍資金だったことが証明された。政権交代を実現するため、グループを問わず配付され、解散が一年近く先延ばしにされ資金の枯渇に苦しんでいた議員や候補者は、その資金によって選挙をスタートすることができたと感謝している。

○政治改革のための軍資金として、政治資金を現金で運用するのはよくて、他の運用方法が悪いというのは論理的根拠がない。不動産の取得は当時違法ではない。

○仙谷前官房長官の「検察審査会による起訴も起訴に変わりない」「離党勧告も視野」という発言を到底許すことはできない。

プロの検察官が一年以上に渡る徹底的な捜査の結果「2度、不起訴」

検察審査会は「よくわからないが裁判で白黒つけろ」と議決したもので全く違う。

弁護士である仙石前官房長官も、当初、「検察の起訴と検察審査会の起訴は

全く違う」と言っていたではないか！

○**検察審査会は幽霊？**

本当に開催されたかどうかさえわからない。

確立0%≒全く別の審査員11人の平均年齢が、34.55歳と2回とも同じ結果。3回平均年齢を訂正。

検察審査会は三権のいずれにも属さない憲法違反の組織。

行政手続きの整備に不備がある。法改正への動きが既に始まっている。

○**検察審査会の審査員選定システムが欠陥品で恣意的な審査員選定が可能であることが「くじ引きソフト調査チーム」の実験により実証された。**

●「5000万円の裏金疑惑は検察とマスコミの合作」、小沢氏に説明責任という前にマスコミが説明責任を果たすべき。何が事実として確認され、何が誤報（虚偽報道）だったか。

TBSは「石川議員が水谷建設から裏金5000万円を受けとった現場にたまたま居合わせた男性の証言」というねつ造ビデオを放映したが、森ゆうこが抗議、その後放映されなかった。後日、日刊ゲンダイがその男性を追跡取材。その男性は石川議員と面識はなく、パーティーで見かけたことはあるかも知れないなどと答えた。

約2年間、真偽不明の報道がなされてきた。象徴的だったのは、「大久保秘書が起訴事実を認めた」とする起訴翌日の誤報、虚報。NHKをはじめ大手マスコミは、大久保秘書の弁護士に確認するという最低限の取材もせず報道。NHKは国会の総務委員会で追及されるも、未だに訂正も謝罪もしていない。

小沢元代表に説明責任を求める前に、マスコミ各社はまず、これまでの報道の何が事実として確認できたのか。何が捏造報道だったのか説明するべきである。あたかも、贈収賄や斡旋利得があったかのように報道してきたが、そのような事実はなかったということが確認されたからこそ、秘書の起訴事実は単なる期ずれであり、小沢氏を起訴することはできなかった。

石川代議士が釈放後の取り調べを録音。調書はねつ造。恐るべき検察の恫喝と不当な誘導。検察のストーリーで作った調書を認めないと釈放されない。家族などに累が及ぶとの恫喝は日常茶飯事？

「政治とカネ」、それは、麻生政権下で警察出身の漆間官房副長官を閣内に入れ、政権交代阻止のために始まった、小沢一郎への政治弾圧だ。東京地検の小沢一郎案件と大阪地検の石井一案件。犠牲者は石川代議士たちと村木厚子元局長。どちらもFD改ざん事件の前田元検事が担当！

西松事件の裁判は既に無い！無罪判決で検察の暴走が明らかになることを恐れたからだ。5000万円裏金疑惑は検察とマスコミの合作。陸山会事件は冤罪である。どこを探しても出てこない「虚偽記載」の事実。だから、検察は2回も小沢一郎を不起訴にしたのだ。

調書はやはりねつ造だった！石川知宏代議士が録音した検察の恐るべき恫喝が、今、明らかになった。

「検察の起訴」と「検察審査会の起訴」は全く違う！

くるくる変わる平均年齢の奇々怪々。検察審査会は幽霊？

三度訂正された上、審査員11人の平均年齢が2回の検察審査会とも34.55歳と同じ⇨確率0%。無罪確実！誰が責任を取るのか？